

ボーネルンドと明治が、子育て支援で協業
“あそび”と“食べる”で子どもの個性豊かな「みらい」を一緒に育てよう
「もぐもぐ+あそぼ プロジェクト」
コラボ Web サイトオープン、7月1日・2日 記念イベント開催

子どもの健全な成長にあそびを通して寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、株式会社 明治（本社：東京都中央区、代表取締役社長：松田 克也）と協業し、“あそび”と“食べる”で子どもの個性豊かな「みらい」への成長を一緒に育てよう「もぐもぐ+あそぼ プロジェクト」を開始いたします。

その第一弾として、子どもの“あそび”と“食べる”に関する情報を発信するコラボ Web サイトをオープンしました。



ボーネルンドと明治の協業プロジェクト始動！「あそび」と「栄養」のイベントやセミナーを開催！

「子どもの個性豊かな“みらい”の成長を応援したい」「パパ・ママが楽しく育児ができるよう応援したい」ボーネルンドと明治の協業プロジェクトは、両社の共通する思いで実現しました。

子どもの健全な成長には、「食べる-遊ぶ-眠る-排泄する」の好循環が欠かせません。“あそび”のボーネルンドと“栄養”の明治がコラボして、子育てファミリーとの双方向のコミュニケーションを通じ“あそび”と“栄養”の大切なポイントをお伝えすることで、パパ・ママが子育てに自信を持って楽しく取り組めるように応援してまいります。

昨今、核家族化や共働き家庭の増加、地域コミュニティの弱体化が進み、“孤育て”に象徴されるような、育児での孤独や不安感、負担増に悩む声が聞かれます。またコロナ禍によって、信頼できる相手に相談できる機会や、当事者同士のリアルでの情報交換の場も減っています。両社で意識調査（後述）を行ったところ、多くのママが、子どもの健康や成長のためになる情報を知ることが重要と考え、インターネットやSNSでの情報収集を行っている実態が明らかになりました。さらに、情報が溢れるなかで、自分の子どもや子育てに適した情報の判断が難しく、日々忙しい毎日を送っているため、実践することへの不安や負担を感じるなど、ジレンマを抱えている様子も浮き彫りになりました。

両社が事業を通じて培ってきた、子どもの健全な成長に欠かせない“あそび”と“栄養”の知見を集約し、育児中の限られた時間の中でも即実践できる情報をまとめて手に入る場を創出します。また、自分の子どもの気になることを他のパパ・ママと話し、お互いの気持ちを知ることができる機会を設けることで、子育てがより前向きに楽しくなるように支援していきます。

今回、ボーネルンド・明治の協働プロジェクトでは、“あそび”と“食べる”に関わる、楽しいイベントやセミナーを企画・開催し、子どもの年齢・月齢に合った“あそび”と“食べる”に関する情報を発信していきます。ボーネルンドのあそび場や店舗で、子どもの発達に即したあそび提案を行うプロフェッショナルであるボーネルンドのインストラクター・プレイリーダーや明治の栄養士からアドバイスをもらえる参加型のイベントを開催し、子育てファミリーを応援する活動を継続的に進めてまいります。

ボーネルンド・明治 協業プロジェクト 概要

- プロジェクト名 : 子どもの個性豊かな“みらい”を一緒に育てよう
「もぐもぐ+あそぼ プロジェクト」
- プロジェクト開始日 : 2022年3月25日(金)
- プロジェクト内容 : “あそび”と“食べる”に関わる楽しいイベントやセミナーの実施
“あそび”と“食べる”に関わる情報発信、プレゼント企画の実施 など
- コラボ Web サイト : <https://www.meiji.co.jp/baby/club/bornelund/>
各種イベントの告知や参加方法などの情報発信を行います
- 企画・運営 : 株式会社ボーネルンド、株式会社明治

ボーネルンド・明治 記念イベント 概要

- 開催日 : 2022年7月1日(金)、2日(土) 各日10:00~17:00 ※予定
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催日が変更になる可能性がございます
- 場所 : 六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- 内容 : ボーネルンドのプレイリーダーと明治の栄養士が本当に伝えたい、子育てにおける“あそび”や“食べる”についてのお話や、子どもが楽しめるワークショップなどを実施
- 参加方法 : 事前予約制 応募方法は5月下旬にコラボサイトにてお知らせ致します。

【「もぐもぐ+あそぼ プロジェクト」からのメッセージ】

子どもは、“しっかりあそび”“しっかり食べる”ことができれば、“よく眠る”ことができる。

あそばなければ、お腹がすかない。食べて“栄養”をとらないと、あそべない。

“あそび”と“食べる”は切っても切れない関係であり、乳幼児期において最も重要な行動です。

そこで、40年以上に渡り“あそび”の大切さを伝え、世界の知育玩具やあそび場を提供してきた「ボーネルンド」と、100年近くに渡り、乳幼児期の“栄養”の大切さを伝え、提供してきた「明治」は協業をすることにしました。

子どもの個性豊かな“みらい”への成長を叶えたい皆様に応援する、“あそび”と“食べる”で子どもの“みらい”を育てるプロジェクト、スタートです。

ご参考情報：子育てに関する情報収集についての意識調査

ポーネランドと明治は、協業プロジェクトの立ち上げに際して、子育てに関する情報収集の実態を明らかにすべく、全国の0歳から6歳までの子を持つ母親を対象に意識調査を行いました。

【 調査結果のポイント 】

■ 子育てに関する情報収集の意識

- 9割超の母親が、「栄養・食事」と「あそび」に関する情報は重要と回答
- 一方で、「情報が多すぎる」「選択した情報が適切だったか不安」といった悩みを抱える方が約7割

■ 子育てに関する情報収集の手段

- 子育てで、最も利用頻度の高い情報源は「ネット検索」、次いで「SNS」となった
- 一方で、信頼性が高いと考える情報源は「家族・友人」、次いで「医師・助産師・保育士等の専門家」。時間に限りがある子育てのなかで常に適切な情報に当たる難しさが垣間見えた
- 「栄養・食事」と「あそび」に関する情報が同時に得られることに価値があるとする方は、87%にのぼった

【 調査概要 】

調査方法：インターネット調査

調査対象：0歳～6歳の子どもを長子に持つ、20～45歳の母親

有効回答数：子どもの年齢に応じた以下5グループで、合計1,214サンプル

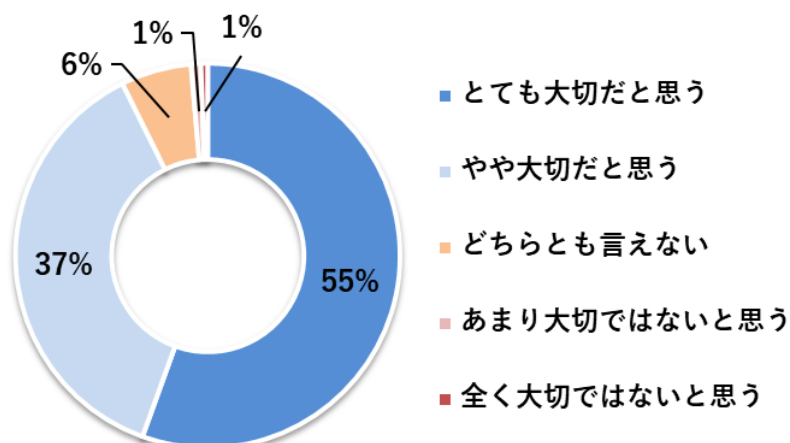
- ①0歳の子どもを長子に持つ母親 221名 / ②1歳の子どもを長子に持つ母親 221名 /
- ③2歳の子どもを長子に持つ母親 221名 / ④3歳の子どもを長子に持つ母親 221名 /
- ⑤4～6歳の子どもを長子に持つ母親 330名

調査時期：2022年2月8日～2月14日

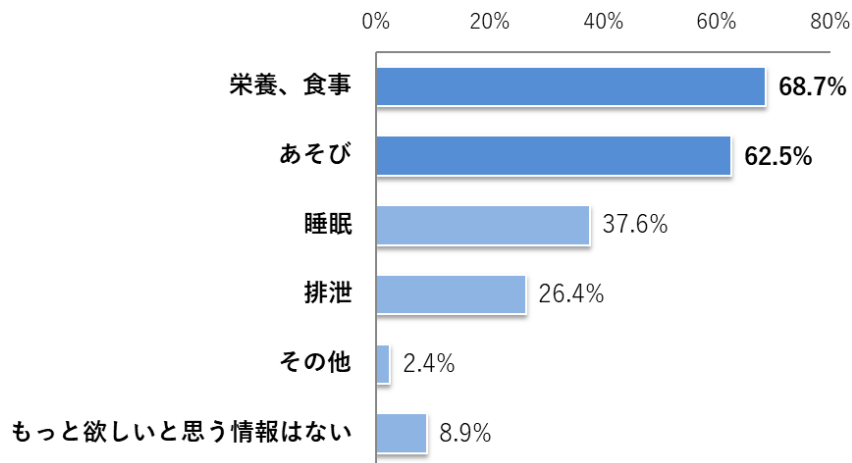
【 調査結果 】

※構成割合は四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

・子育てに関して、適切な情報を得ることはどれくらい大切だと思いますか。(n=1,214)

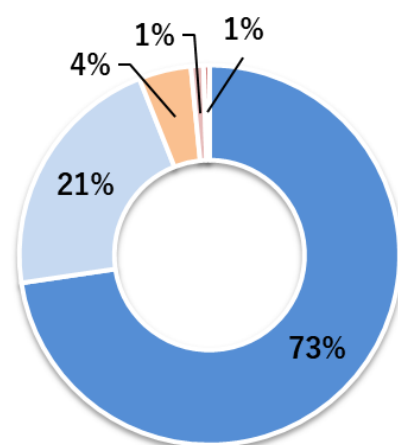
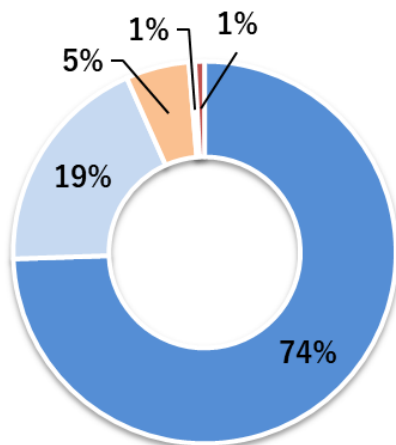


・子育てに関して、もっと欲しいと思う情報は何か。当てはまるものを全て選択ください。(n=1,214)



・子どもの成長にとって、「しっかりあそぶこと」はどれくらい重要だと思いますか。(n=1,214)

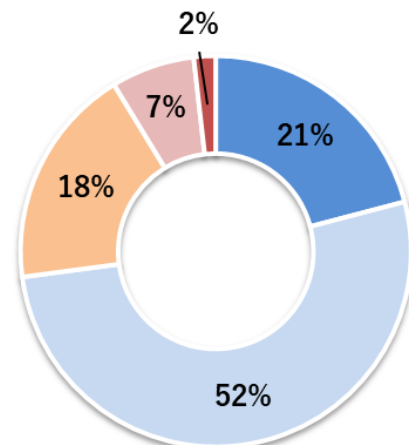
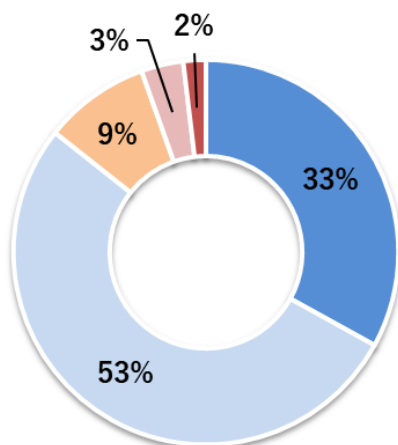
・子どもの成長にとって、「しっかり栄養をとること」はどれくらい重要だと思いますか。(n=1,214)



■ とても重要 ■ やや重要 ■ どちらとも言えない ■ あまり重要ではない ■ 全く重要ではない

・子育てに関する情報はたくさんあるが、多すぎて何を信じたらよいかわからない、と思うことはありますか。(n=1,214)

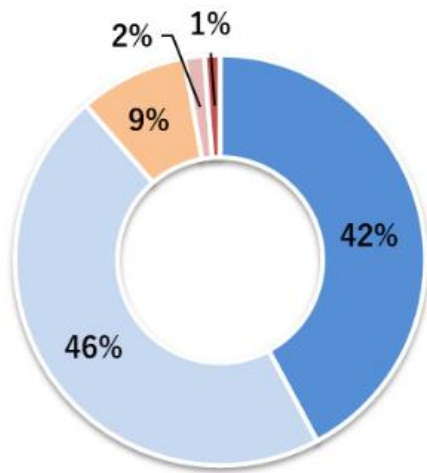
・子育てに関する情報がたくさんある中、自分が選択した情報で本当によかったのか不安に思うことはありますか。(n=1,214)



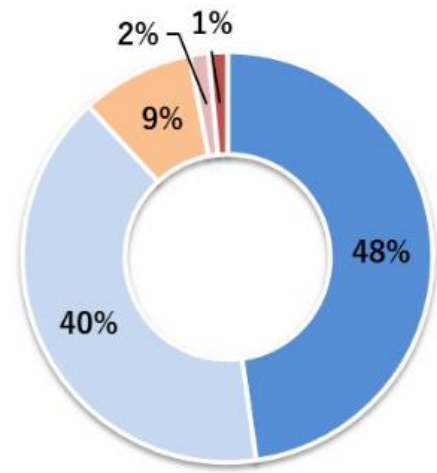
■ よくある ■ 時々ある ■ どちらとも言えない ■ あまりない ■ 全くない

子育てに関する情報収集が大切であると考えてる方は、92%にのびりました。中でも、「栄養・食事」と「あそび」に関する情報のニーズが高く、それらのトピックを重要と考える方も、9割を超える結果となりました。一方で、「情報が多すぎて何を信じたらよいか分からないと思うことがある」と答えた方が86%、「選択した情報が本当に適切だったのか不安に思うことがある」と答えた方が73%おり、情報の取捨や判断への課題もうかがえました。

・子どもの成長にあった「あそびやおもちゃ」について、信頼できる情報を得ることは大切だと思いますか。(n=1,214)

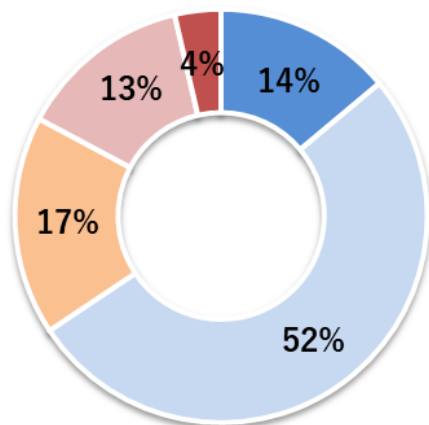


・子どもの成長にあった「栄養や離乳食・食事の進め方」について、信頼できる情報を得ることは大切だと思いますか。(n=1,214)

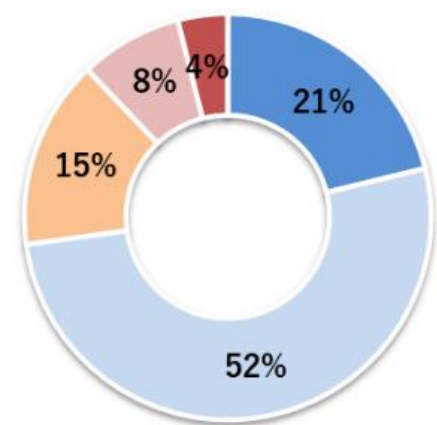


■ とても大切だと思う ■ やや大切だと思う ■ どちらとも言えない ■ あまり大切ではないと思う ■ 全く大切ではないと思う

・子どもの成長にあった「あそびやおもちゃ」に関して、実際に情報収集はしていますか。(n=1,214)



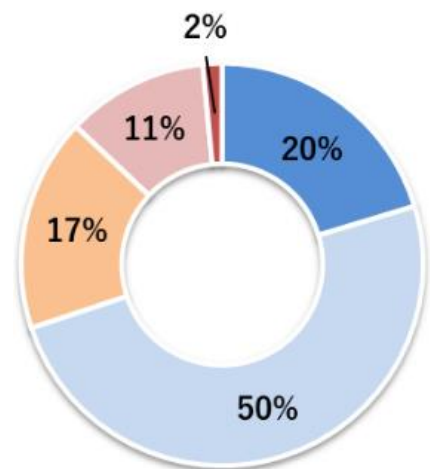
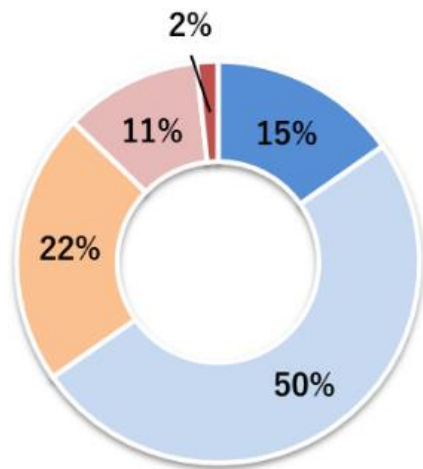
・子どもの成長にあった「栄養や離乳食・食事の進め方」について、実際に情報収集はしていますか。(n=1,214)



■ よくしている ■ 時々している ■ どちらとも言えない ■ あまりしていない ■ 全くしていない

・「あそびやおもちゃ」について、情報が多すぎて何を実践したらよいかわからなくなり、負担や不安を感じることはありますか。(n=1,214)

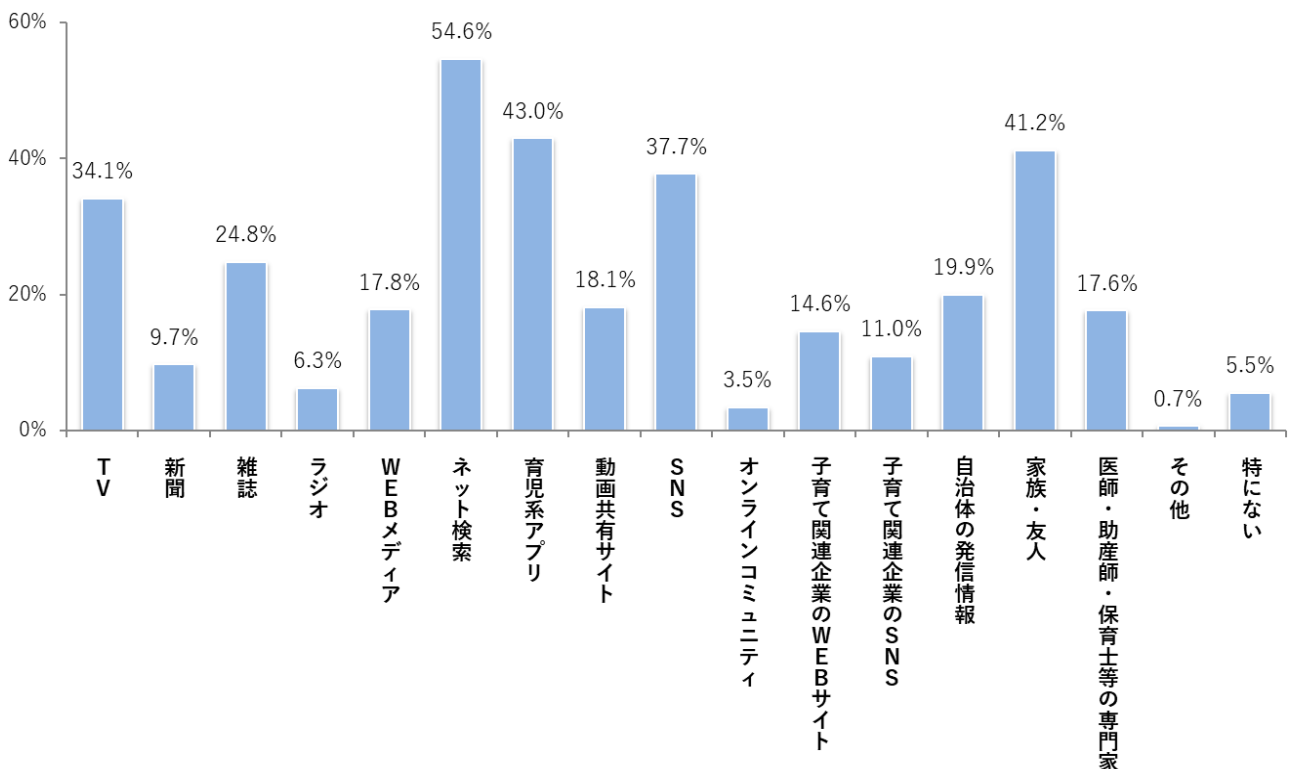
・「栄養や離乳食・食事の進め方」について、情報が多すぎて何を実践したらよいかわからなくなり、負担や不安を感じることはありますか。(n=1,214)



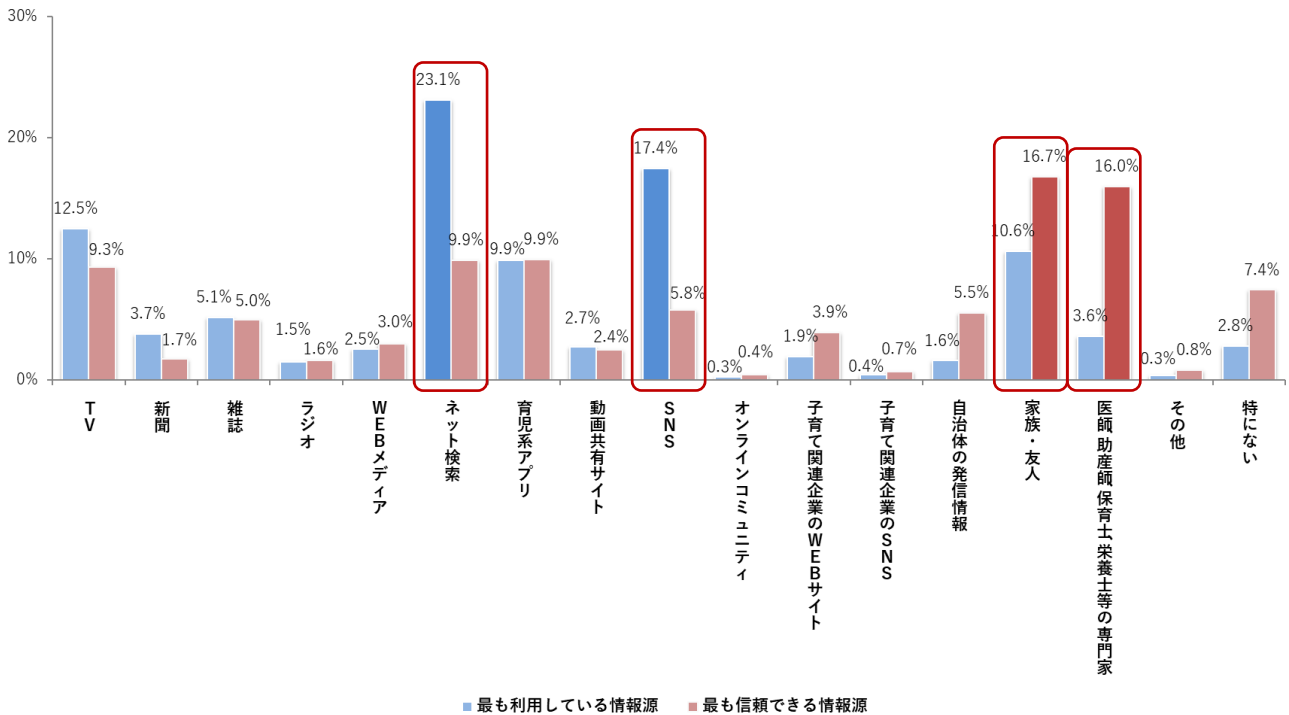
■ よくある ■ 時々ある ■ どちらとも言えない ■ あまりない ■ 全くない

特に関心の高かった「栄養・食事」と「あそび」のトピックに絞って調査してみると、いずれも88%の母親が信頼できる情報を得ることが大切と考え、実際に情報収集をしていると答えた方も「食事・栄養」で73%、「あそび」で66%にのびりました。一方で、情報が多すぎて実践に移しづらく、負担や不安を感じる方が「食事・栄養」で70%、「あそび」で65%、いることも分かりました。

・子育てに関するあなたの情報源について、当てはまるものを全てお選びください。(n=1,214)

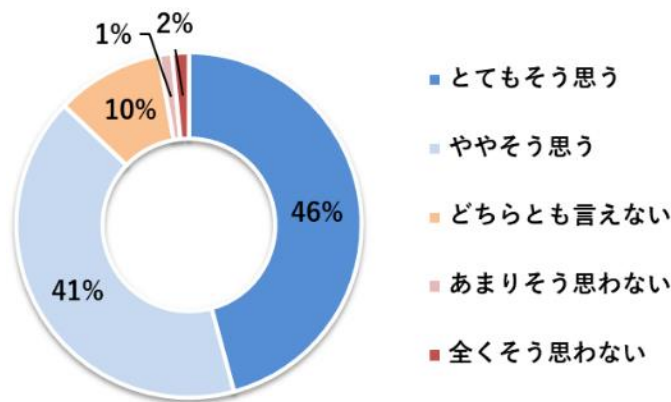


・子育てに関するあなたの情報源について、「最も利用している情報源」と「最も信頼できる情報源」をそれぞれお選びください。(n=1,214)



子育ての情報を得るために、半数以上の母親が、「ネット検索」(54.6%)、「育児系アプリ」(43.0%)を利用していました。さらに、育ての情報源として、最も利用頻度の高いものは「ネット検索」、次いで「SNS」となりました。一方で、信頼性が高いと考える情報源は「家族・友人」、次いで「医師・助産師・保育士等の専門家」でした。人から得られる情報に信頼を寄せつつも、手軽に済ませられるインターネット検索やSNS、アプリを活用している現状が明らかになりました。

・子どもの年齢や成長にあった「あそびやおもちゃ」と「栄養や離乳食・食事の進め方」についての情報を同時に受け取れる場合、あなたの子育てにとって価値があると思いますか。(n=1,214)



情報の多さや取捨・判断の負担が子育て層への負担として考えられるなか、ニーズの高い「栄養・食事」と「あそび」が同時に得られる場があれば価値があると考える方は、87%にのびりました。

【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 64 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では直営のあそび場全国 25 ヶ所、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国 50 ヶ所以上、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【 明治について 】

明治は、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代のお客さまに向けて、乳幼児用ミルク、牛乳、ヨーグルト、菓子、チーズ、スポーツ栄養、流動食など幅広い商品を展開しています。1923 年、日本で初めてビタミン B1 を添加した乳児用ミルクを発売して以来、100 年近くに渡り、明治は赤ちゃんや子ども達の「栄養」の大切さを伝え、より良い成長・発達への貢献を目指してきました。これからも「おいしく楽しく食べる」という基本を大切にしながら、利便性や健康機能性などの様々な付加価値を加えた多様な「栄養」を提供し、赤ちゃんや子ども達のより良い成長・発達へ更なる貢献ができるよう前進してまいります。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

株式会社 明治 広報部
広報担当：島崎
TEL：03-3273-0700
e-mail yuri.shimazaki@meiji.com

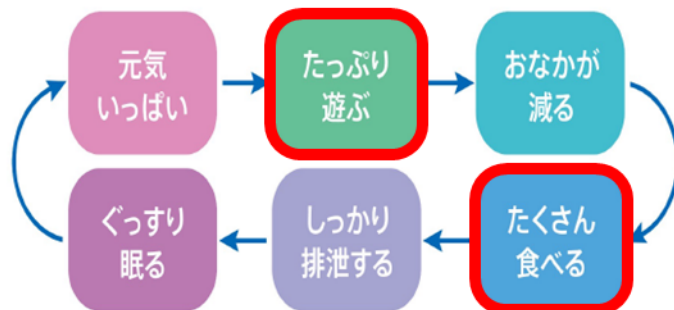
【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーネルンド
TEL:03-5785-0860（月～金 10:00～17:00）

【参考資料】

子どもたちの個性豊かな「みらい」のために 食とあそびの“楽しさ”を提案します

成長に必要な栄養を十分に、そしておいしく食べること。お腹が満たされたらたっぷりとおそぶこと。そして心地よくあそび疲れてぐっすり眠り、起きたら気持ちよく排泄すること——子どもの健やかな成長には、この循環がとても大切です。好循環ができあがると、子どもはニコニコ機嫌がよく、親にとっても育児がとても楽しく感じられるかもしれません。「栄養」の明治と、「あそび」のポーネルドがタッグを組んで、おおらかに子育てを楽しめるような、明るい「みらい」に向けて、子育てファミリーを応援していきます。



子育てを楽しんでほしい。

共通する思いが、子どもの個性豊かな「みらい」を応援
「もぐもぐ+あそぼプロジェクト」につながりました

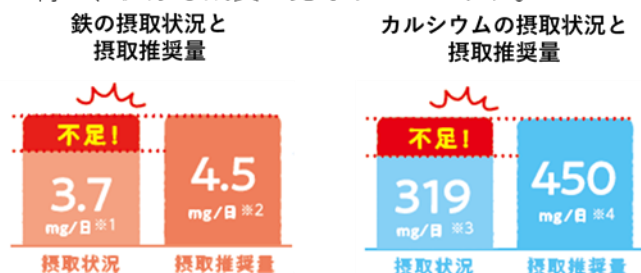
わが子の楽しそうな様子は、親を幸せな気持ちにします。幸せな親に育てられれば、子どもも幸せをたっぷり受け取って育ちます。子育てには知識も情報も必要ですが、何よりも大切なのは「楽しさ」ではないでしょうか。

食べることとあそぶことは別々の行為ですが、どちらも子どもの成長には不可欠です。その不可欠な

行為を、親も楽しんでおおらかに経験させてあげてほしい。楽しそうな親といっしょに食べれば、吸収がよいし咀嚼力も上がります。親に見守られながらあそびの楽しさを十分に味わえば、体も心も健康に育つでしょう。子育ての土台には不安や心配ではなく「楽しさ」があってほしいという二社の思いが、今回のプロジェクトにつながりました。

—————栄養不足の子どもの多い—————

飢餓とは無縁のように思える現代日本ですが、子どもの成長に欠かせない微量ミネラルやビタミン類は不足がみえます。たとえば、骨の主成分であるカルシウム、全身に酸素を供給して細胞の成長を促す鉄は2人に1人が不足していることがわかっています。ほかにも亜鉛、DHA、たんぱく質、ビタミンDなど、成長期の子どものしっかりとした栄養素が不足したり偏ったりしているケースが少なくありません。子どもに必要な栄養の知識や摂取のためのノウハウを得て、健康な成長を見守りたいですね。



- ※1：12～36カ月の「国民健康・栄養調査（平成28年）」男子の鉄摂取量中央値。但し、女子の鉄摂取量中央値は3.3mg/日
- ※2：12～36カ月の「日本人の食事摂取基準（2020年度版）」鉄推奨量
- ※3：12～36カ月の「国民健康・栄養調査（平成28年）」男子のカルシウム摂取量中央値。但し、女子のカルシウム摂取量中央値は273mg/日
- ※4：12～36カ月の「日本人の食事摂取基準（2020年度版）」男子のカルシウム推奨量。但し、女子のカルシウム推奨量は400mg/日

—————子どもの「あそび」が減っている—————

体を存分に動かすことでお腹がすき、ごはんがおいしく食べられる。心地よく疲れて質のよい睡眠がとれる。子どもはあそぶことでよい生活リズムを身につけ、また、人との関わりを学んでいきます。しかし最近では「キャッチボール禁止」の公園が増えるなど、あそびを制限する傾向が見られるようになってきました。

発育発達学の専門家で山梨大学の理事・副学長の中村和彦さんは「現代の小学校4年生の体力・運動能力は、30年前の幼稚園児とほぼ同等」と指摘します。あそびの重要性を知るとともに、子どもがあそぶ場を確保することが、ますます重要になってきています。

2021年度、全国の小学5年生と中学2年生を対象に、体力や運動能力を調べた国の調査では、50メートル走やボール投げなど8項目合計の全国の平均値が、男子では、小中学生とも調査を始めてから最も低くなったことが分かりました。スポーツ庁は、背景に新型コロナウイルスの感染拡大による運動時間の減少とスマートフォンなどを見る時間が長くなったことがあると分析しています。

プロジェクト発足にあたっての意識調査では 現代の育児の難しさが浮き彫りに

【明治】

インターネットやSNSを通じて、育児についてのさまざまな情報が得られる時代です。それは便利でありありがたいことですが、混乱や不安を増大させる一面もあるように思います。話をする相手がいれば、その人の顔の表情、声のトーンなど、実際に見たり聞いたりしなければ判断できないことが多いからです。また栄養の話は時に難しく、学ぶ意欲が続かないことも。**食もあそびも、体験しなければわからないことがたくさんある**のです。

「もぐもぐ+あそぼプロジェクト」の開始にあたっては、専用サイトを設けるなどデジタルももちろん活用します。それと同時に、セミナーやワークショップなど、対面でコミュニケーションしたり、モノに触れる、五感を使ったりする機会をたくさん提供したいですね。

子どもの個性豊かな「みらい」を応援

「もぐもぐ+あそぼプロジェクト」にはグローバルかつ長期的な視点を

【明治】

プロジェクトは始まったばかりです。まずはセミナーやインスタライブといった取り組みを通じて、食べることとあそぶことの価値を子育てファミリーに伝えていきたいと考えています。将来的にはぜひ、日本だけではなく世界に向けて情報発信していきたいですね。食とあそびの重要性は、世界中の子どもに共通することです。

楽しく、明るく、ポジティブに！子育てファミリーへのメッセージ

【明治】

子育てにはさまざまな悩みがつきまといまいます。食に関して気になることがたくさんあるはずで、それぞれのご家庭で調理の工夫などをなさっていることでしょう。その試行錯誤の中ではぜひ、「ご自分も」楽しんでいただきたいと思います。

どんなに料理に手をかけても、厳しく息詰まるような雰囲気の中ではおいしく感じられません。食事はつまらないものとインプットされては、食の豊かさを味わう機会も減ってしまうでしょう。子育ての良い循環を生み出す原動力は、明るさだと信じています。

【ボーネルンド】

数多ある情報の中から正しい情報を選択するのがとても難しく、また、親の選択は重大だということ、親になってあらためて感じます。

自分のことであれば容易に決められますが、たとえ自分の子どもであっても、子どもは自分ではない別人格の人間です。その子のことを考えて情報を適切に選択することは、とても難しいと感じます。

子どもに健全に育ってほしい、さまざまな課題に柔軟に対応できるようになってほしいと、皆が願っているのは間違いのないはずで、楽しくあそぶことで、子どもはさまざまな分野の情報に出合い活動します。そして楽しく食べることで心も満たされ、健康的で豊かな体を作ります。あそぶことと食べること。体や人格の形成に大きく影響する双方の分野のプロフェッショナルとして、多くの方の子育てをサポートしたいと考えます。

【ボーネルンド】

子育ては、数年で終わるものではありません。ある意味では一生続くものではないでしょうか。ですからこのプロジェクトも、長期的な視野を持つことが大切だと思います。育児不安の課題を、短期間で解決するのは無理があります。大げさに言えば世代を超えて、十年単位で活動を続けていきたいと考えています。

【ボーネルンド】

子どもは一人ひとり、性別も性格も家庭環境も違います。でも、どんな子どもものびのびとあそび、「楽しさ」を受け取る権利があるのだと思います。子どもを取り巻く大人は、「楽しさ」を彼らに与える義務があるのではないのでしょうか。スポーツ選手を育成する際、厳しく教え込むだけではある時点から伸びなくなってしまうといいます。あそびながら自発的に楽しく身につけないと、到達点が低くなってしまいます。子どもが楽しいことは大人も楽しい。大人が楽しければ子どもも楽しい。そういうポジティブな視点を忘れないようにしたいと思っています。



写真左：

株式会社 明治
マーケティング本部 ニュートリションマーケティング一部 部長 大石昇吾

写真右：

株式会社ボーネルンド 取締役 副社長
マーケティング本部 本部長 中西みのり